

ゼオンメディカル

会社紹介

【事業内容】

医療機器の製造販売

1989 年設立。日本ゼオン(株)が世界で初めて製造承認を受けた「補助人工心臓」の製造販売を行うために設立されました。その後、研究・開発・製造部門の一貫体制を整えた医療機器メーカーとして、主に循環器系、消化器系の医療機器の製造・販売を行っています。

【人員数】

2022 年 3 月末人員数：216 名（男性 110 名、女性 106 名）

2021 年度採用実績：15 名（男性 7 名、女性 8 名）



ゼオンメディカル高岡工場・メディカル研究所



製品イメージ



消化器用オフセットバルーンカテーテル



胆管用カバードメタリックステント



血管内圧測定用センサー付ガイドワイヤ

会社方針（トップメッセージ）

昨今、医療を取り巻く環境が大きく変化する中で、当社は常に安全第一で操業に取り組み、『for the patients』を判断の拠り所として、人々の生活の質向上を目指しています。

また、当社は以下を品質方針に掲げ、より良い製品を安定的にお届けできるよう、日々努力を続けております。

「当たり前品質を追求し、魅力的品質を創造する」



代表取締役社長 皆川 達

安全への取り組み

【方針】

- (1) 安全は、事業活動の基盤であり、全てに優先する。
- (2) 安全は、全ての事故を防止できるとの信念が基本である。
- (3) 安全は、5S と一人ひとりが責任を持つことにより達成される。

【具体的な取り組み】

- ・安全第一の下、「安全はひとり一人の思いやり」を基本とし、周りの安全を守る意識が自分を守るという意識の徹底。
- ・4 ラウンド KYT[※]とヒヤリハット抽出の定着、およびリスクアセスメントによるリスク低減の実施。

※KYT：危険予知トレーニング

環境負荷削減の取り組み

【方針】

エチレンオキッド使用量、水道水使用量、電力使用量を抑制・削減する。

【具体的な取り組み】

1. エチレンオキッド使用量の抑制

・生産状況に合わせてエチレンオキッドを使用する滅菌装置の稼働状況を調整

2. 水道水使用量の削減

・老朽設備の更新

3. 電力使用量の削減

・温度管理設定の見直し
・不要照明の消灯や間引き

4. 環境関連データ（「0」は 0.5 未満、「0.0」は 0.05 未満を示す）

ゼオンメディカル（株）		2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
PRTR 法対象物質	対象物質数	1	1	1	1	1
	使用量（トン）	1.8	1.6	1.6	1.5	1.5
	排出量（トン）	1.8	1.6	1.6	1.5	1.5
産業廃棄物	減容前発生量（トン）	8	10.1	10.1	8.9	7.2
	埋立処分量（トン）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
水資源（工業用水+地下水+上水道）使用量（千 m ³ ）		11.1	11	13	13	11
CO ₂ 排出量（トン） 省エネ・温対法基準		1,010	905	825	851	887
CO ₂ 排出量（トン） Scope1		-	-	-	-	226
CO ₂ 排出量（トン） Scope2		-	-	-	-	607
CO ₂ 排出量（トン） Scope1+2		-	-	-	-	834
エネルギー使用量（原油換算、kL）		400	379	370	380	419

社員とともに

【方針】

医療機器の提供を通じて人々の QOL 向上[※]に貢献し、会社の財産である社員が誇りとよこごびを共有する。

※QOL 向上=クオリティ・オブ・ライフの向上（健康回復と活力のある生活の維持・向上）

【具体的な取り組み】

みんなが楽しく働ける環境整備

・社員とその家族が楽しめる厚生行事の企画

地域との共生

工場のある富山県・高岡市を中心に、積極的に地域連携を進める。

【具体的な取り組み】

1. 清掃ボランティア活動

地域の美化団体主催の海岸清掃イベントに参加しています。

(2022 年度)

- ・氷見島尾海岸清掃 (8 名参加)
- ・伏木国分海岸清掃 (3 名参加)

2. 近隣地区のゴミゼロ活動への参加

工場周辺で行われる清掃活動に参加しています。

3. 富山県の医療機器産業育成への活動

地域の教育機関に出向き講演を実施し、産業育成に協力しています。

- ・富山大学理工学部にて「医療機器ビジネスの展望」と題して講演実施